

東尾張ブロック研修報告 (9月14日(土))

【趣旨】

地域ケア会議に管理栄養士(専門職)として参加で切るようにするための研修会とする。

【具体的内容】

介護予防にフォーカスし、対象者は要支援1・2、地域ケア会議の症例に出てくるような方の症例を、現時点では食事に対して問題がなくても予後予測を想定しての助言が出来る。管理栄養士が介入する事で自立に繋がり、管理栄養士が介入する事で重症化を遅らせる事に繋がるように。ICFを盛り込んだ症例を話し合う。

【会場】ウインクあいち 1801

【タイムスケジュール】

全体司会進行 藍川副ブロック長

13:25~13:30 挨拶(ブロック長)

13:30~13:40 栄養ケアステーション組織体制の説明

栄養ケアステーション センター長 奥村圭子

13:40~14:25 「地域ケアの多職種からの最新情報」

講師 理学療法士 老人保健施設 愛泉館 加藤卓也先生

14:25~14:40 事例報告(フレイルサルコペニア予防と体重減少)

講師 管理栄養士 石川洋子

14:40~14:50 地域ケア会議に出席するための心得

トイレ休憩

講師 岡崎東病院 木原八千代

14:55~15:20 ロールプレイで学ぶ地域ケア会議からの訪問栄養食事指導
(自立支援のための栄養アセスメント)

15:20~15:55 グループワーク・質疑応答

15:55~16:00 アンケート記入、閉会挨拶

【まとめ】

「地域ケアの多職種からの最新情報」を理学療法士の講師がトリプル改定、多職種の関わった見取りもふくめた症例を報告。あとのグループワークでも地域ケア会議に参加への心得など、実際にケア会議に参加していない参加者も、栄養だけをみるのではなく家族の支援にも目を向けていくことが大切。本人の気持ちや家族の気持ちに寄り添うこと等。ケア会議の役割の中には、地域診断をして、地域資源を見つけることも、意義がある。参加者10名中ケアステーションに未登録が半数ということで、グループを2つに分け、グループワークをすすめたので、参加者は話がしやすく、活発に交流ができていた。こちらもやる気のある方への声掛けが出来た。また今後実践で取り組めることの学びも多く、今後のケア会議に参加していくことのハードルが少し下がったのではないかと思える充実した交流も出来たのではないか。今後期待できる話し合いが出来たと思われる。

